

平成 26 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「特別賞」



相 田 洋 (あいだ ゆたか)

ドキュメンタリーディレクター

1936 年 5 月 3 日生まれ

【授賞理由】

『母と息子 3000 日の介護記録』において、超高齢社会の現実の姿として切り取られた映像は、切迫感のなかにユーモアを交え在宅で生活する認知症の人の行動や思い、家族の心情が表現されています。この一連の記録は在宅における認知症ケアの課題を浮き彫りにするとともに、ひとつのケアのあり方として認知症の人を介護する人々に安心を与えました。

【略歴】

1960 年 3 月 早稲田大学法学部卒業
1960 年 4 月～1999 年 5 月 日本放送協会
1999 年 9 月～2002 年 3 月 慶應義塾大学環境情報学部

【褒賞】

放送文化基金個人賞（1991 年）、芸術選奨文部大臣賞（1992 年）、日本記者クラブ賞（1996 年）、紫綬褒章（2001 年）

【作品受賞歴】

1967 年 「親子鼓」	ダブリン国際番組コンクール銀賞
1968 年 「乗船名簿 AR29」	文化庁芸術祭奨励賞
1969 年 「ある湖の物語」	文化庁芸術祭優秀賞
1980 年 「石油・知られざる技術帝国」	放送文化基金本賞、石油文化賞、高柳記念科学放送賞
1984 年 「核戦争後の地球」	イタリア賞グランプリ、ピーボディ賞、文化庁芸術祭大賞、テレビ大賞、日本ジャーナリスト会議賞、ほか海外の賞 3 件
1991 年 「電子立国日本の自叙伝」	放送文化基金個人賞、高柳記念科学放送賞、国際科学技術映像祭（産業部門）銀賞
1992 年 「移住 31 年目の乗船名簿」	放送文化基金賞本賞